

はなやか関西～文化首都年～2012

「人形浄瑠璃」フォーラム 開催概要

「人形浄瑠璃」フォーラムを開催しました。

平成24年10月6日(土)11時から、大阪歴史博物館において、「人形浄瑠璃」フォーラムを開催しました。

このフォーラムは、近畿圏広域地方計画の主要プロジェクト「文化首都圏プロジェクト」推進のための取組で、「はなやか関西～文化首都年～」の一環として実施したものです。

関西の“ほんまもん”「人形浄瑠璃」の魅力・歴史・取組等について広く知っていただくことで、「人形浄瑠璃」に関連する地域づくり活動を活性化させ、「文化首都圏・関西」の形成を目指して開催しました。



【開会挨拶】

山田建政部長による「はなやか関西～文化首都年～」の説明のあと、はなやか関西～文化首都年～2012「人形浄瑠璃」実行委員長である河内厚郎氏による挨拶で開会しました。



山田俊哉 近畿地方整備局建政部長



実行委員会委員長 河内 厚郎 氏
(演劇評論家・神戸夙川学院大学教授)

【基調講演】(11:20～12:00)

続いて、「関西から結ばれる日本のこころ～街道の人形浄瑠璃～」と題しまして、阪口弘之神戸女子大学古典芸能研究センター長による基調講演がありました。

人形浄瑠璃の成立及びその歴史、日本の人形劇の特徴、人形浄瑠璃が都市開発に果たした役割、また人形浄瑠璃の伝搬を通じた「関西から結ばれる日本のこころ」を分かりやすく説明いただきました。



阪口 弘之 氏
(神戸女子大学古典芸能研究センター長)

【講演の内容】

- 一 人形浄瑠璃の成立
- 二 日本の人形劇の特色
- 三 近松門左衛門と竹本義太夫との連携
- 四 都市芸能としての人形芝居(道頓堀興行界の果たした役割)
- 五 「暦」をめぐる貞享二年道頓堀競演
- 六 『用明天王職人鑑』顔見世興行
- 七 人形芝居の地方興行
- 八 淡路人形浄瑠璃の場合
- 九 文化発信首都をめざして

【学生研究発表】(13:00～14:30)

予備審査を通過した5団体より、「人形浄瑠璃を通じた関西の魅力発信のアイデア」について、それぞれの企画が披露されました。

審査員による厳正な審査の結果、奈良県立奈良朱雀高等学校奈良朱雀ビジネス企画部による企画「妹背山婦女庭訓“高校生プロデュース～人形浄瑠璃ツアーin 奈良～”」が優秀賞に選ばれました。

【発表企画一覧】

- ① ミステリーツアー「清姫旅ーココロとカラダの癒し旅ー」(立命館大学文学部)
- ② 妹背山婦女庭訓“高校生プロデュース～人形浄瑠璃ツアーin 奈良～”
(奈良県立奈良朱雀高校 奈良朱雀ビジネス企画部)
- ③ 出張人形浄瑠璃(大阪成蹊短期大学)
- ④ 「本物」から「リアリティ」へーLocal Education Curriculum としての人形浄瑠璃の可能性ー
(関西学院大学文学研究科)
- ⑤ 教育観光を通じた伝統文化のリバイバルと地域振興ー御坊市の「人形浄瑠璃文化」を事例にー
(立命館大学自主ゼミ地域観光学研究会)



学生発表の様子



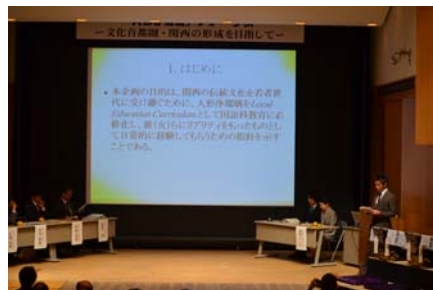
①立命館大学文学部による発表



②奈良県立奈良朱雀高校による発表



③大阪成蹊短期大学による発表



④関西学院大学院生による発表



⑤立命館大学地域観光学研究会による発表

【演目解説】(14:40～15:00)



アドバイザー 久堀 裕朗 氏
(大阪市立大学大学院文学研究科准教授)

南淡中学校が上演する「日高川入相花王 渡し場の段 (ひだかがわいりあいざくら わたしぼのだん)」及び文楽が上演する「梅川・忠兵衛～『傾城恋飛脚』新口村の段より～ (うめがわ・ちゅうべえ けいせいこいびきやく にのくちむらのだんより)」の演目解説が久堀裕朗実行委員会アドバイザーによりなされました。

作品が成立した背景などを専門的見地より分かりやすく解説いただきました。

【学生による実演】(15:05~15:30)

「伝統芸能の継承・発展」に力を注いでいる、南あわじ市立南淡中学校郷土芸能部による「日高川入相花王 渡し場の段(ひだかがわいりあいざくら わたしぼのだん)」が上演されました。

「人形遣い・太夫語り・三味線弾き」の全てを中学生たちが上演し、終了の際には観客から盛大な拍手が巻き起こりました。



南淡中学校郷土芸能部による部活動紹介



南淡中学校の上演「日高川入相花王 渡し場の段」

【文楽公演】(15:35~16:30)

人形浄瑠璃文楽座により、「梅川・忠兵衛～『傾城恋飛脚』新口村の段より～(うめがわ・ちゅうべえ けいせいこいびきやく にのくちむらのだんより)」が上演されました。

冒頭には技芸員による文楽人形の解説と、人形遣い体験の時間が設けられ、来場者6名が舞台上がり実際に人形を操りました。

その後「梅川・忠兵衛」が上演され、洗練された伝統芸能に来場者も魅せられていました。



技芸員による文楽人形の解説



人形体験の様子

【開会挨拶】



(財)徳島県文化振興財団 仁木部長による閉会挨拶

(財)徳島県文化振興財団 仁木部長より、平成 24年 10月 20日(土)~21日(日)にかけて徳島県で開催される、はなやか関西~文化首都年~2012「人形浄瑠璃」のコア事業「全国人形芝居フェスティバル」の紹介を以て閉会挨拶となりました。

はなやか関西～文化首都年～2012「人形浄瑠璃」フォーラム 開催概要

○開催目的

関西の“ほんまもん”「人形浄瑠璃」の魅力・歴史・取組等について広く人々に知っていただくことで、「人形浄瑠璃」に関連する地域づくり活動を活発化させ、「文化首都圏・関西」の形成を目的として実施。

○開催時期

平成 24 年 10 月 6 日(土) 11:00～16:30

○会場

大阪歴史博物館 4 階 講堂

○タイトル

「人形浄瑠璃」フォーラム～文化首都圏・関西の形成を目指して～

○プログラム（敬称略）

開 会 挨拶 : 河内厚郎(神戸夙川学院大学教授)

基 調 講 演 : 阪口弘之(神戸女子大学古典芸能研究センター長)

「関西から結ばれる日本のこころ～街道の人形浄瑠璃～」

学生研究発表: ①ミステリーツアー「清姫旅-ココロとカラダの癒し旅-」(立命館大学文学部)

②妹背山婦女庭訓「高校生プロデュース～人形浄瑠璃ツアー in 奈良」

(奈良県立奈良朱雀高等学校 奈良朱雀ビジネス企画部)

③出張人形浄瑠璃(大阪成蹊短期大学観光学科)

④「本物」から「リアリティ」へ-Local Education Curriculum としての人形浄瑠璃の可能性-

(関西学院大学大学院文学研究科)

⑤教育観光を通じた伝統芸能のリバイバルと地域振興-御坊市の「人形浄瑠璃文化」を事例に-

(立命館大学地域観光学研究会)

演 目 解 説 : 久堀裕朗(大阪市立大学大学院文学研究科准教授)

「日高川入相花王 渡し場の段」「梅川・忠兵衛～『傾城恋飛脚』新口村の段より～」

学生による実演:「日高川入相花王 渡し場の段」

(南あわじ市立南淡中学校郷土芸能部)

文 楽 公 演 : 文楽人形の解説・人形体験

ミニ公演「梅川・忠兵衛～『傾城恋飛脚』新口村の段より～」

(人形浄瑠璃文楽)

○参加人数

181名

